

活動報告

団体名	一般社団法人 NATURE & HUMANS JAPAN
活動名	被災した障害者のためのニーズ調査及び支援(介助・カウンセリングなど)
活動期間	2017年3月～2017年9月
活動の成果	<p>益城のバリアフリー仮設に住むご家族と、熊本地震で被災された障害者、そして聴覚などの障害当事者がボランティアとして福岡県より集まり、イベントで楽しく交流しました。</p> <p>被災して必死だった時期から、ようやく皆で生活を楽しむ機会ができ、仲間づくりの基盤が出来上がり助け合いが始まりました。</p> <p>また、他団体とも連携して、木山仮設、テクノ仮設などで、高齢者、障害者をターゲットとした映画会を実施しました。仮設住宅での映画会は大変好評で、参加者は、引きこもりがちな70代～80代の男性たちなど10名から40名が各回参加しました。</p> <p>違うエリアから来た、異なる団体に所属する異なる障害を持つ人が、互いに支えあいながら、助け合うことができるようになりました。とくに、聴覚障害当事者のボランティアが、積極的に身体障害者 視覚障害者の介助を、瞬く間に覚え、積極的に介助をし細やかな配慮と気遣い、自然な理解と共感し大活躍しました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様のご寄付を、心より感謝申し上げます。</p> <p>私共が支援している障害者、高齢者、社会的弱者は災害弱者でもあり、災害時の混乱の時に、障害ゆえに十分な配慮を受けることが難しい方々です。こうした方々を支援するには、被災者の自宅や避難先に直接アウトリーチすることのできるスタッフや環境が必要になります。また被災者の困っていることについて、直ちに対応できる機動力、柔軟性が必要となります。こうした必要は、既存の社会福祉の仕組みの枠外で、動かなければならないことがほとんどです。</p> <p>赤い羽根の助成により、災害緊急時のこうした動きを実施することができました。まだまだ困難の最中にある障害者をに支援することを継続できたのは皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

